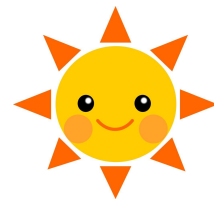


行ってきました！！

「ねやがわ市民共同発電所 1号機」の見学

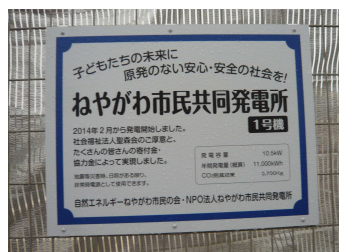


市民共同発電所は、大阪府下ではまだまだ少ないのですが、寝屋川で取り組んでいると聞き、本年2月、グリーンコンシューマー大阪ネットワークのメンバーで「ねやがわ市民共同発電所 1号機」の見学に行ってきました。案内してくださったのは、自然エネルギーねやがわ市民の会代表の船越久土さんと同じく世話人の山口美津子さん、見学の後、設置の経過や思いなどをお伺いしました。

「ねやがわ市民共同発電所 1号機」は、京阪・寝屋川市駅から徒歩5分ほど、繁華街を抜けてすぐの“たちばな保育園”の屋上にあります。10.5kW、2014年2月に売電を開始しました。



👉 寝屋川市駅すぐ近くの保育園です



園庭の門にある看板



園の屋上10.5kWを2014年2月から売電中

きっかけは、2011年3月11日の東日本大震災で、福島原発の状況を目の当たりにし、「原発をなくしたい」、「自然エネルギーを普及させたい」との思いが始まりです。新日本婦人の会寝屋川支部の呼びかけに賛同した有志が集まり、その年の5月に福島へ視察へ行ったり、学習会や「シェーナウの想い」のDVD上映会などを開いたそうです。そして、まず「自然エネルギーねやがわ市民の会」を立ち上げました。

その後寄付や協力金を募り、たちばな保育園の屋根を借り、発電電力の全量を関電に売電しています。その後、同じく2014年11月にワークセンター小路に2号機2.5kWを稼働、今年2017年には3号機9.6kWの設置に取り組んでいます。

発電所の運営は、市民共同発電所に特化した“NPO法人ねやがわ市民共同発電所”を別に立ち上げて、寄付や協力金の募集しています。また3号機では、はじめてクラウドファンディングを利用し、資金の一部を調達することが出来ました。

現在、自然エネルギーねやがわ市民の会の会員は約180名。「自然エネルギー学校」の開催など、自然エネルギーのますますの普及拡大を目指し活動しています。

見学を終え、目的にぶれずに真っ直ぐに取り組んでいる姿勢が魅力であり、会員が多いこともうなづけると思いました。

(大林)